

月刊「いいテク・ニュース」Vol. 87 2010.3.9

(株)技術情報センター

「いいテク・ニュース」  
～ Ecology & Energy-Techno News ～

2010. 3.9 Vol.87

いつもお世話になっております。「いいテク・ニュース」第 87 号  
をお届け致します。

今年も梅の季節となりました。

服部嵐雪の句に

「梅一輪 一輪ほどの あたたかさ」 があります。

春を迎え、気温の上昇とともに、少しづつでも着実に  
景況が良くなり、笑顔の輪が広がりますように。

今月号のメルマガでは、2010 年 4 月開催セミナーと  
新規取り扱い書籍のご案内を致しております。

今回のご案内では、

「エネルギー」関連セミナーと「環境」関連セミナーを中心に  
厳選した 7 セミナーをお届け致します。

最後までお読みいただくとありがたいです。

i n d e x

セミナー情報[2010 年 4 月開催予定セミナー/7 件]

おすすめセミナー Pick Up

新規取り扱い書籍情報 (12 タイトル)

セミナー及び書籍・調査資料 Web サイトアクセス数 Top10

E-mail 変更・不要について  
あとがき

セミナー情報  
[2010年4月開催予定セミナー/7件]

弊社が主催するセミナーを、日付順でご案内致します。  
詳細につきましては、各セミナータイトルの下にございます  
URLにてご案内致しております。

4月20日(火)-----

- 技術者・研究者のための -  
英語プレゼンテーション入門  
~ 正しい準備のしかた、間違いやすい技術系英語表現、  
質疑応答のテクニック ~

<http://www.tic-co.com/seminar/20100408.html>

~ プラント関連を中心とした ~  
エンジニアのための設備コストの見積方法

<http://www.tic-co.com/seminar/20100413.html>

4月21日(水)-----

オゾンによる水処理技術の開発動向

<http://www.tic-co.com/seminar/20100403.html>

~ C C S の最新動向 ~  
C O 2 の分離・回収及び貯留・固定化・隔離に関する  
国内外の最新動向と各種技術の開発動向

<http://www.tic-co.com/seminar/20100412.html>

4月22日(木)-----

## 海水淡水化技術最前線

<http://www.tic-co.com/seminar/20100402.html>

## リチウムイオン電池等（キャパシタ・有機 E L ）の 製造における空調・設備・溶剤回収技術

<http://www.tic-co.com/seminar/20100406.html>

4月23日(金)-----

## 分散型電源の導入とスマートグリッドにおける 系統連系技術

<http://www.tic-co.com/seminar/20100411.html>

各月毎のご案内を、下記 URL にご用意致しておりますので是非一度  
ご覧頂けましたら幸いに存じます。

### 2010年3月開催セミナー

<http://www.tic-co.com/seminar/seminar-03.html>

### 2010年4月開催セミナー

<http://www.tic-co.com/seminar/seminar-04.html>

### 2010年5月開催セミナー

<http://www.tic-co.com/seminar/seminar-05.html>

開催決定・開催終了分より、随時追加・削除されていきますので、  
最新の情報は上記URLをご参照下さいませ。

おすすめセミナー Pick Up

今回の Pick Up セミナーは

～ C C S の最新動向～

『C O 2 の分離・回収及び貯留・固定化・隔離に関する  
国内外の最新動向と各種技術の開発動向』

です

地球規模でのエネルギー需要増が進む中、大量の CO2 を削減する  
手段として、二酸化炭素回収・貯留 (CCS = Carbon Dioxide  
Capture and Storage) 技術が非常に注目されています。

本セミナーでは、CCS に関する政策・規制やプロジェクト・  
ビジネス動向を始め、CO2 の各種分離・回収技術と昇圧・輸送技術  
及び貯留・EOR 技術、又、発電プラントにおける CO2 回収技術の  
実際について、斯界の第一線でご活躍中の講師陣に詳しく解説  
頂きます。

- |     |   |        |
|-----|---|--------|
| 講 師 | (独)産業技術総合研究所<br>エネルギー技術研究部門<br>エネルギー社会システムグループ長<br>中央大学 理工学部 応用化学科<br>講師 工学博士 | 西尾匡弘 氏 |
| 講 師 | (財)地球環境産業技術研究機構<br>化学研究グループ グループリーダー<br>博士(工学)                                | 風間伸吾 氏 |
| 講 師 | 千代田化工建設(株)<br>フェロー 技術戦略研究所長   | 坂口順一 氏 |
| 講 師 | 石油資源開発(株)<br>開発本部 担当部長  | 山本正隆 氏 |
| 講 師 | 三菱重工業(株)<br>機械・鉄構事業本部<br>環境・化学プラント事業部<br>計画部 部長                               | 荻野信二 氏 |

日 時 2010年 4月 21日(水) 9:30~17:00

会 場 東京・新お茶の水・総評会館・4F会議室

受講料 49,980円(1名につき)

(同時複数人数お申込みの場合1名につき44,730円)  
テキスト代、昼食代、お茶代、消費税を含む

## セミナープログラム

・CO<sub>2</sub>回収・貯留(CCS)に関する国内外の動向と展望  
(9:30 - 10:45)

1. 温室効果ガス排出削減対策の全体像とCCS推進に至る背景
2. 国際的枠組の中でのCCSに関する議論
3. 国内外のCCSに関する法規制と方向性
4. 国内外のCCSに関する取り組み、プロジェクトの最新動向と事業化のポイント
  - (1)海外におけるプロジェクト、事業化の動向
  - (2)日本における実証、プロジェクトの動向
  - (3)将来の事業環境の整備と留意点
5. CCSビジネスの動向
  - (1)国内外におけるビジネスの市場予測  
~どの地域にどんな需要があるのか?~
  - (2)CCSを推進・義務化する国家政策動向  
~カナダ、米国、ノルウェー、英国、中国、他~
  - (3)国内外企業の動向と戦略
  - (4)CCSに関連するビジネスチャンス
6. 今後の展望
7. 質疑応答

(西尾氏)

・CO<sub>2</sub>の各種分離・回収技術の開発動向と膜分離技術  
(10:55 - 12:10)

1. CO<sub>2</sub>分離・回収法の特徴と技術開発の動向
  - (1)膜分離法によるCO<sub>2</sub>の分離・回収技術の開発動向

～国内外でのCO<sub>2</sub>分離膜の開発動向、分離膜の性能と  
CO<sub>2</sub>回収コスト、CO<sub>2</sub>分離膜の今後の展開～

- (2)化学吸収法
  - (3)吸着法
  - (4)その他
- 2．各プロセスにおけるCO<sub>2</sub>の分離・回収法の比較と  
コスト低減策
    - (1)発電プラント
    - (2)LNGを含めた天然ガスプラント
    - (3)製鉄・鉄鋼プラント
  - 3．質疑応答

(風間 氏)

．CO<sub>2</sub>昇圧・輸送の技術開発の動向  
(12:55 - 14:10)

- 1．Pre-Combustion CCS と Post-Combustion CCS について
- 2．CO<sub>2</sub>の昇圧・脱水・輸送・注入について
  - (1)各種システム構成の特徴
  - (2)液化とガスでの昇圧の比較
  - (3)Specific Power 比較
- 3．CO<sub>2</sub>コンプレッサーの技術開発の動向
- 4．CO<sub>2</sub>ポンプの技術開発の動向
- 5．技術課題と今後の展望
- 6．質疑応答

(坂口 氏)

．油田へのCO<sub>2</sub>圧入とEOR（原油増進回収法）  
(14:20 - 15:35)

- 1．地中貯留のメカニズム
- 2．油田の探査と坑井掘削
- 3．原油ガスの採収  
～一次回収、二次回収（水攻法）、三次回収～
- 4．EOR（原油増進回収）のポイント  
～ケミカル攻法、熱攻法、ガスミシブル攻法等～

- 5．CO<sub>2</sub> - EORの特徴  
～原油との相性～
- 6．世界のCO<sub>2</sub> EORプロジェクト
- 7．日本における事例紹介
- 8．効果と経済性
- 9．質疑応答

(山本 氏)

・発電プラントにおけるCO<sub>2</sub>回収技術と展望  
(15:45 - 17:00)

- 1．石炭ガス化複合発電(IGCC)でのCCS技術
  - (1)特徴
  - (2)プロセス比較
  - (3)実施例
- 2．ボイラー&タービン発電方式(BTG)でのCO<sub>2</sub>回収技術
  - (1)特徴
  - (2)プロセス比較
  - (3)実施例
- 3．質疑応答

(荻野 氏)

- 名刺交換会 -

セミナー終了後、ご希望の方はお残り頂き、講師と参加者間での名刺交換会を実施させていただきます。

お申し込み・お問い合わせ等は下記 URL にてご覧下さい。

<http://www.tic-co.com/seminar/20100412.html>

新規取り扱い書籍情報(12タイトル)

新たにお取り扱い致します書籍を、分野別にご案内致します。  
詳細につきましては、各書籍タイトルの下にございます URL にて  
ご案内致しております。

---- 《 エネルギー 》 -----

次世代バイオエタノール生産の技術革新と事業展開

<http://www.tic-co.com/books/10ftb014.html>

イオン液体 III ナノ・バイオサイエンスへの挑戦

<http://www.tic-co.com/books/2010t726.html>

新エネルギーとバイオマスエネルギーの技術と市場 2010

<http://www.tic-co.com/books/2010s763.html>

次世代キャパシタ開発最前線

<http://www.tic-co.com/books/09nts234.html>

高性能蓄電池～設計基礎研究から開発・評価まで～

<http://www.tic-co.com/books/09nts233.html>

---- 《 環境 》 -----

M B R (膜分離活性汚泥法)による水活用技術

<http://www.tic-co.com/books/10sta048.html>

---- 《 新材料・新素材 》 -----

UV硬化プロセスの最適化 2

<http://www.tic-co.com/books/10sta051.html>

コーティング材料のコントロールと添加剤の活用

<http://www.tic-co.com/books/10sta050.html>

--- 《 エレクトロニクス材料 》 -----

次世代パワー半導体

～省エネルギー社会に向けたデバイス開発の最前線～

<http://www.tic-co.com/books/09nts235.html>

光配向テクノロジーの開発動向

<http://www.tic-co.com/books/2010t719.html>

--- 《 医薬品・先端医療関係 》 -----

難水溶性薬物の物性評価と製剤設計の新展開

<http://www.tic-co.com/books/2010t721.html>

細胞治療・再生医療のための培養システム

<http://www.tic-co.com/books/2010t716.html>

セミナー及び書籍・調査資料 Web サイトアクセス数 Top10

2月 1 日から 2月 28 日までの約 1 ヶ月間のセミナー及び  
書籍の Web ページアクセス数 Top10 を挙げてみました。

..... セミナー Top10 .....

第 1 位 『マイクロバブル/ナノバブル（微細気泡）の  
生成法と各分野への利用・応用展開』

(3月 11 日(木)開催) 744 counts

<http://www.tic-co.com/seminar/20100315.html>

第2位 『リチウムイオン電池等二次電池及びEV・HEV向け  
レアメタルとリサイクルに関する最新動向』  
(3月16日(火)開催) 743 counts  
<http://www.tic-co.com/seminar/20100317.html>

第3位 『冷凍機およびヒートポンプの設計入門』  
(2月26日(金)開催) 707 counts  
<http://www.tic-co.com/seminar/20100222.html>

第4位 『工場・設備における省エネ・省CO2の進め方と  
補助金等活用によるコスト削減策』  
(2月24日(水)開催) 355 counts  
<http://www.tic-co.com/seminar/20100220.html>

第5位 『圧力容器の強度評価と設計技術・規格基準』  
(2月25日(木)開催) 348 counts  
<http://www.tic-co.com/seminar/20100221.html>

第6位 『有機溶剤(VOC・NMP)等の処理・回収・  
リサイクル技術』  
(3月17日(水)開催) 294 counts  
<http://www.tic-co.com/seminar/20100306.html>

第7位 『吸着技術の基礎・測定・解析と吸着分離操作・装置設計』  
(3月9日(火)開催) 281 counts  
<http://www.tic-co.com/seminar/20100313.html>

第8位 『バラスト水規制と処理技術・装置の最新動向』  
(3月10日(水)開催) 247 counts  
<http://www.tic-co.com/seminar/20100301.html>

第9位 『技術者のための原価・採算・経理知識』  
(3月12日(金)開催) 219 counts

<http://www.tic-co.com/seminar/20100316.html>

- 第 10 位 『リチウムイオン電池の製造・設備技術』  
(1月28日(木)開催) 188 counts  
<http://www.tic-co.com/seminar/20100104.html>

今回の集計では、3月11日開催の『マイクロバブル/ナノバブル  
(微細気泡)の生成法と各分野への利用・応用展開』セミナーが  
1位に。

前回のメルマガでのおすすめセミナー Pick Up で取り上げた  
セミナーが1位になり、推奨のしがいがありました。

..... 書籍及び調査資料 Top10 .....

- 第 1 位 『電子ペーパーの最新技術と応用』 427 counts  
<http://www.tic-co.com/books/2004t405.htm>

- 第 2 位 『表面処理技術ハンドブック』 323 counts  
<http://www.tic-co.com/books/01nts006.htm>

- 第 3 位 『最新吸着技術便覧』 202 counts  
<http://www.tic-co.com/books/01nts016.htm>

- 第 4 位 『高分子材料の劣化と寿命予測』 187 counts  
<http://www.tic-co.com/books/09sta045.html>

- 第 5 位 『甲状腺癌の基本手術』 144 counts  
<http://www.tic-co.com/books/06nts154.htm>

- 第 6 位 『2006年版 レアメタルリサイクル市場の現状と  
今後の方向性』 130 counts  
<http://www.tic-co.com/books/2006tv04.htm>

第7位 『樹脂の硬化度・硬化挙動の測定と評価方法』 124 counts  
<http://www.tic-co.com/books/07sta015.htm>

第8位 『ウェットエッチングのメカニズムと  
処理パラメータの最適化』 118 counts  
<http://www.tic-co.com/books/08sta025.htm>

第9位 『ポリマー ABC ハンドブック』 110 counts  
<http://www.tic-co.com/books/01nts010.htm>

第10位 『ファインケミカルマーケットデータ 99 (1・2巻)』  
107 counts  
<http://www.tic-co.com/books/1999s733.htm>

今回の第1位は『電子ペーパーの最新技術と応用』。  
電子書籍の本格的な市場への投入が始まり、関連技術への関心  
が高まった結果でしょう。  
ただ、残念なことに当該書籍は絶版になっています。

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

#### E-mail 変更・不要について

E-mail アドレスが変更になった場合は、件名に『アドレス変更』  
とご記入頂き、本文には、

旧 E-mail アドレス

新 E-mail アドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますよう  
お願い申し上げます。

今後このご案内メールが不要でございましたら、件名に『不要』

とご記入頂き、本文には、

E-mail アドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますようお願い申し上げます。

下記 URL でも承っております。

<http://www.tic-co.com/merumaga.html>

このメールの返信にてお問い合わせをされますと、処理の都合上、ご回答までに一週間以上頂く場合がございます。

お問い合わせは [info@tic-co.com](mailto:info@tic-co.com) までお願い致します。

あとがき

『梅』

梅は木の花がほとんど咲いていない冬から春にかけて咲き出すので「ようやく、梅の咲き出す季節になった」という開放感を与えてくれるのが嬉しい。

また、梅は別名を好文木（こうぶんぼく）とも呼ばれ、その名の示すように、古来より文学、とりわけ和歌に詠まれることが多かった。

「花」と言えば奈良時代までは「梅」を、平安時代以降は「桜」を意味する程、日本人に親しまれてきた。

一例として、

次の 1 と 2 の「花」は「梅」を、3 と 4 の「花」は「桜」を指している。

1. 難波津の咲くやこの花ふゆごもり  
いまは春べと咲くやこの花（王仁）
2. 人はいさ心も知らずふるさとは  
花ぞむかしの香に匂ひける（紀貫之）
3. 花の色はうつりにけりないたずらに

わがみ世にふるながめせしまに（小野小町）

4. ひさかたの光のどけき春の日に  
しづ心なく花ぞ散るらむ（紀友則）

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

ご存知の方も多いと思いますが、梅に関する、心あたたまる  
「鶯宿梅（おうしゅくばい）」の故事をご紹介します。

「大鏡」の記述によれば、天曆年間、村上天皇は御所の梅が  
枯れてしまったのを知り、かわりの梅を探させていたが、  
紀貫之の娘の庭に美しい梅があるのを知り、勅命で移植させよう  
とした。

この梅を大切にしてきた紀貫之の娘は悲しみ、

「勅なれば いともかしこし 鶯の 宿はと問はば いかが答えむ」

と詠んだ短冊を枝につけて献上したとのこと。歌心をお持ちになる村上天皇は、その風流に感動し、「鶯宿梅」と名付けて梅の木を元の庭に戻したと伝えられています。

雅びやかな謂れを知ると心もほのぼのとあたたかくなりますね。

鶯宿の

由来知りきて

香をきけば

風雅な故事に

心も温（ぬる）む

竺児

最後までお読み頂き、ありがとうございます。

本メールマガジンのご感想や本メールマガジンへのご意見・ご要望  
等 melmaga@tic-co.com まで、どしどしお寄せ下さいませ。

////////////////////////////////////

『 - その先の、深い情報へ。 - 』

(株)技術情報センター

〒 530-0038 大阪市北区紅梅町 2 番 18 号 南森町共同ビル 3F

[ T E L ] 0120-06-0140 / 06-6358-0141

[ F A X ] 06-6358-0134

[ U R L ] <http://www.tic-co.com/>

[ E-mail ] [info@tic-co.com](mailto:info@tic-co.com)